

MITOYO *Kagawa*

三豊市第3次観光基本計画 ————— 2025年度 - 2029年度

三豊をもっと好きになる。



「三豊市第3次観光基本計画」 アクションプラン実施報告書

2025年度

目次

01	計画の概要	03p
02	基本戦略とKPI	04p
03	2025年度の重要トピック	05p
04	実施事業	07p
05	KPIの達成状況	17p
06	2025年度の総括	18p

第3次観光基本計画の概要

計画の目的 (MVV)



Mission：美しい風景とふるさとを未来へ残す

Vision：風景が観光を育み、観光が風景を創るまちへ

Value：瀬戸内の水鏡・多島美と里山、自然と人が織りなす風景

ターゲット設定



既存ターゲット：

- 感動的な自然風景を求める旅行者

新期ターゲット：

- 地域と繋がり・学び・成長を求める来訪者

計画期間



計画期間：

2025年度～2029年度（5年間）

基本戦略とKPI

基本戦略

今後5か年で取り組むアクションプラン



本計画では、三豊市の観光振興に向けて7つの基本戦略を設定しています。

1. サステナブルな観光の推進
2. ターゲットに合わせた情報発信・マーケティング
3. 満足度向上のためのコンテンツ造成
4. 「食」の魅力創出と連携
5. リピーター・ファンの創出
6. 受入体制の整備（ハード・ソフト）
7. 観光DXの推進

KPI

今後5か年で定める目標値



本計画では以下の指標を設定し、定期的な測定・評価を実施します。

【2029年度目標】

- ・観光消費額：45,000円
- ・観光入込客数：2,000千人
- ・宿泊客数：50千人
- ・訪日外国人宿泊客数：3,000人
- ・リピーター率：50%
- ・市民愛着度：50%

【2025年度の重要トピック①】瀬戸内国際芸術祭2025

概要

瀬戸内国際芸術祭2025は、「海の復権」をテーマに瀬戸内海の17エリアを舞台に開催された現代アートの祭典です。三豊市の粟島会場は秋会期の主要会場として、島の歴史や文化を活かした多様な作品展示とイベントが展開されました。

01

実施内容

粟島では4カ国7組の作家による9作品を展示。重点取組として、地元3高校（高瀬・香川西・笠田）と連携した商品開発や弁当企画、おもてなし活動などの次世代育成プログラムを推進しました。また、空き店舗を活用した「週替わり食堂」や「あわしま鬼瓦クエスト」、漂流郵便局の特別開局といった住民参加型の体験型コンテンツを多数実施し、来場者と島民の深い交流と島内の回遊を促進しました。

02

実績

粟島会場の来場者数は21,660人を記録し、前回（2022年）比で1.42倍と大幅に増加。ボランティアには過去最多の民間企業や学生が参加し、延べ1,091人が運営を支えました。来場者アンケートでは98.5%が「良かった」と回答し、島民の74%が「地域活性化に役立った」と評価しています。県全体の経済波及効果は195億円に達し、観光振興と地域コミュニティの再活性化に大きく寄与しました。



【2025年度の重要トピック②】TOP100ストーリーズ受賞

概要

オランダに本部を置く国際認証機関グリーン・ディスティネーションズが、世界各地の「持続可能な観光」の優良事例を評価し、優れた100選を決定する国際的なコンテスト。三豊市は、父母ヶ浜における観光地管理の取組が世界基準で高く評価され、2025年の「TOP100ストーリーズ」に選出されました。

01

内容

1990年代の埋め立て危機に対し、住民団体「ちちぶの会」が清掃活動による“ささやかな抵抗”を開始。30年続いた保全活動が実を結び、2017年のSNSでの話題化を機に来訪者は6年で100倍の50万人に急増。現在は観光客も清掃に加わり、協力金制度や環境学習を通じて、住民と来訪者が共に自然を守り育む「共創のかたち」へと進化した、奇跡の再生と持続可能な観光モデルを提示。

02

評価

このストーリーは、カテゴリ「観光地管理」において、地域コミュニティ中心の活動と効果的なマーケティングが観光地を活性化させた独創的なストーリーであると評価されました。



実施事業：基本戦略 #1 サステナブルな観光推進

	具体的なアクション	主体	2025年度の実施事業	実績・効果
1	ガイドラインに基づくサステナブルな観光推進	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化起業人制度の活用による専門人材 	<ul style="list-style-type: none"> 専門人材 1名 基礎調査、ロードマップの策定
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 父母ヶ浜協力金制度 	<ul style="list-style-type: none"> 協力金：3年間で約530万円 活用：清掃道具購入・環境生態系調査、等
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 紫雲出山桜募金 	<ul style="list-style-type: none"> 募金：5年間で約760万円 活用：桜保全（剪定・植樹・管理費）、等
2	ユニバーサルデザインを取り入れた環境整備	観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 紫雲出山桜シーズン車いすタクシーサービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 桜シーズン利用者9組
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> ピクトグラムを活用した看板設置（紫雲出山桜シーズン） 	<ul style="list-style-type: none"> 紫雲出山常設看板（注意喚起ピクトグラム） 桜シーズン看板配布チラシ（多言語+ピクトグラム）
3	持続可能性の重要性や実践方法の普及	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 「日本航空株式会社との包括的連携協定」に基づく持続可能な観光セミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数：21名
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 「一般社団法人TARA JAPANとの連携に関する協定」に基づく環境学習の開催（AWASHIMA HEART PROJECTなど） 	<ul style="list-style-type: none"> AWASHIMA HEART PROJECT 参加人数：45名 海洋環境教育出前授業 参加人数：79名
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 子ども図書館船ほんのもり号 	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数：大人42人、こども146人（全5回合計数）



実施事業：基本戦略 #2 ターゲットに合わせた情報発信・マーケティング (1/2)

具体的なアクション	主体	2025年度の実施事業	実績・効果
1 海外へのプロモーション	共同	<ul style="list-style-type: none"> JNTO広域連携プロモーション事業による、シンガポールメディア招請 	<ul style="list-style-type: none"> Asia oneへの記事掲載
	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船商談会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 外国船を含む商船会社からのオーダー
	観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 海外旅行会社と事業者のマッチング (WEB、商談会) 	<ul style="list-style-type: none"> 紫雲出山桜シーズンに団体プランを紹介 財田いちご農園、雲辺寺
	観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 海外メディア対応 	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメンタリー制作 (仏)、雑誌社受入 (仏) 国営、テレビ局受入 (伊)
	観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> FAMツアー受入及び視察受入 (米国、フランス) 	<ul style="list-style-type: none"> 富裕層旅行会社Belle Planete (仏) FAM受入
	観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> せとうちDMO富裕層向け商談会参加 	<ul style="list-style-type: none"> EXO Travel Japan (欧米豪)、Into Japan Specialist Tours (英)、ジェイナビゲーター (独)、Tricolage
2 秋冬の発信強化	観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 絶景の近くで泊まるキャンペーンうどんクーポン付きプラン販売 	<ul style="list-style-type: none"> PV数 (7/25-1/31) : HP 約2万PV、IG 約46万PV、予約件数 : 115件/予約人数 : 272名/売上 : 約350万
	観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> ミトヨグラムでの秋冬の発信強化 	<ul style="list-style-type: none"> ライトアップSNS発信強化 (香川用水記念公園ライトアップ、大水上神社、雲辺寺)
	観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> フォトコンテスト (秋冬テーマ) 	<ul style="list-style-type: none"> 紅葉、祭り、伝統、秋冬をテーマに募集 プリント部門応募数412点/ 応募数598点



実施事業：基本戦略#2 ターゲットに合わせた情報発信・マーケティング (2/2)

	具体的なアクション	主体	2025年度の実施事業	実績・効果
3	地域全体で魅力を共有し発信	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイト「℃ 瀬戸内三豊の島旅ガイド (粟島・志々島・荘内半島エリア)」制作 	<ul style="list-style-type: none"> 島の継続的な情報発信基盤を確立
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 「せとうち香川みとよマルシェ」開催 (有楽町駅前広場) 	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏来場者へのPRを実施 来場者アンケート604件を回収 市内17事業者が出店
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学生向け紫雲出山桜鑑賞会 開催 	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数(R6年度末) 大人11人、こども19人
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 無印良品「つながる市」 開催支援 	<ul style="list-style-type: none"> 13回開催
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 三豊カレンダー 	<ul style="list-style-type: none"> 三豊の定番とDEEPな風景を紹介 発行部数：9,500部
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> SNS投稿、ウェブサイト更新 	<ul style="list-style-type: none"> PV数 (4/1-1/31)：HP 約213万PV (GA4)、IG 約1,723万PV
4	三豊らしい過ごし方 (モデルコース) の発信	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化起業人制度の活用による専門人材の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 専門人材 1名 ガーカガワ 記事10本/モニターツアー1回実施 6名
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 國學院大學「観光まちづくりインターンシップ」学生受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> インターン生1名 (モデルコースを作成、ウェブサイト℃で発信)
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> ウェブサイトでのモデルコース掲載 	<ul style="list-style-type: none"> MITOYO Guideで定番コースから季節ごとのモデルコースを掲載
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> ガイドブック「MITOYO Guide」での周遊マップ掲載 	<ul style="list-style-type: none"> MITOYO Guideで定番コースから季節ごとのモデルコースと周遊MAPを掲載



実施事業：基本戦略 #3 満足度向上のためのコンテンツ造成

	具体的なアクション	主体	2025年度の実施事業	実績・効果
1	地域資源を活用したコンテンツ造成	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度 三豊市創業支援事業補助金 	<ul style="list-style-type: none"> 観光関連事業者（空き家活用によるゲストハウス開業）1社
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の祭り行事や地域イベント開催支援 	<ul style="list-style-type: none"> 16団体（補助合計額：20,418,000円）
		事業者	<ul style="list-style-type: none"> 農泊事業協議会によるFAMツアー受入、コンテンツの磨き上げ 	<ul style="list-style-type: none"> 1件（8名）
2	高付加価値な体験コンテンツの開発サポート	共同	<ul style="list-style-type: none"> 観光庁地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業の実施（4市町広域観光連携） 	<ul style="list-style-type: none"> 専門家による各エリアへの具体的な提言
3	視察受け入れのパッケージ化	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 香川県地域おこし協力隊研修プログラム実証 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者 のべ45名
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> バイオマス資源化センターの視察プログラム 	<ul style="list-style-type: none"> 件数：899人/66団体 （市同席のみ視察件数：290人/19団体） （市が徴収した視察料：30,000円/4団体）
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 視察研修プログラムの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 全国から視察受け入れ、講師派遣（JICA 世界17カ国、広島県、長崎、宮津、高知、茨城、山形、高知）月平均3組
4	教育旅行の市場調査、受入団体の整備	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 合宿誘致促進事業補助金 	<ul style="list-style-type: none"> 5団体（補助合計額：510,000円）



実施事業：基本戦略#4 「食」の魅力創出と連携

	具体的なアクション	主体	2025年度の実施事業	実績・効果
1	「食」の魅力創出と 磨き上げ	共同	<ul style="list-style-type: none"> みとよをもっと好きになる！アイデアおにぎりコンテストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 応募数99件 最優秀賞の「紫雲出山のアジサイおにぎり」を瀬戸内国際芸術祭会期中に粟島・紫雲出山で販売
		共同	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消弁当の開発・販売（笠田高校・市内事業者との連携企画） 	<ul style="list-style-type: none"> 学生12名が主体的に開発・瀬戸内国際芸術祭会期中に粟島で販売
		共同	<ul style="list-style-type: none"> 「びわスイーツ」開発、販売の伴走支援（高瀬高校ミライ塾、市内事業者との連携企画） 	<ul style="list-style-type: none"> 学生3名が主体的に開発・つながる市や瀬戸内国際芸術祭会期中に粟島で販売
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 地域食材を活用したメニュー開発・提供 	<ul style="list-style-type: none"> 高瀬茶ラテ、廃棄になる予定だったチョコレートの端切れを活用したホットチョコレート等を開発 開発したメニューを紫雲出山遺跡館喫茶コーナーで販売
2	地産地消店舗の 掘り起こし、情報発信	—	<ul style="list-style-type: none"> （次年度以降、着手） 	<ul style="list-style-type: none"> （次年度以降、着手）
3	メニューの 市場調査・研修会の開催	—	<ul style="list-style-type: none"> （次年度以降、着手） 	<ul style="list-style-type: none"> （次年度以降、着手）



実施事業：基本戦略#5 リピーター・ファンの創出

	具体的なアクション	主体	2025年度の実施事業	実績・効果
1	地域の人々との交流	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内国際芸術祭開催に向けた会場整備、作品制作 瀬戸内国際芸術祭会期中の作品受付 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者や学生を中心に、過去最多の1091名が運営に携わり交流した
		市民	<ul style="list-style-type: none"> ちちぶの会清掃活動、おもてなし撮影 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が父母ヶ浜協力金に貢献
2	父母ヶ浜を拠点に観光案内	観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 父母ヶ浜指定管理者として事務所移転の準備 	<ul style="list-style-type: none"> R8.3.12～父母ヶ浜にて観光案内所開館
3	ふるさと納税の活用	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 企業版ふるさと納税 父母ヶ浜での活用 	<ul style="list-style-type: none"> 件数：3件
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> ガイドブック「MITOYO Guide」での掲載 	<ul style="list-style-type: none"> MITOYO Guideにふるさと納税を紹介、デジタル版も発行・3万部発行
		事業者	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税PR動画作成 	<ul style="list-style-type: none"> 交流局がインフルエンサーと共同制作 交流局のInstagramやYouTubeにて掲載
4	県外の三豊出身者への働きかけ	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 「せとうち香川みとよマルシェ」開催（有楽町駅前広場） 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート回答者数：604件
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> みとよふるさと会の総会、懇親会開催 みとよふるさと会へ情報発信（毎月） 	<ul style="list-style-type: none"> 会員数：【関東】166名【関西】172名



実施事業：基本戦略 #6 受入体制の整備（ハード整備）

	具体的なアクション	主体	2025年度の実施事業	実績・効果
1	観光施設の整備	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 栗島芸術家村のトイレ洋式化 	<ul style="list-style-type: none"> 男子トイレ（1か所）・女子トイレ（2か所）を洋式化
2	景観の整備	共同	<ul style="list-style-type: none"> 紫雲出山 桜保全景観維持 	<ul style="list-style-type: none"> 樹木医による樹勢調査、年間保全維持活動、地元小学生による植樹 5本/年



実施事業：基本戦略#6 受入体制の整備（ソフト整備）（1/2）

	具体的なアクション	主体	2025年度の実施事業	実績・効果
1	ガイド育成	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 地域活性化起業人制度の活用による専門人材の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 専門人材 1名
		市民	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり推進隊託間による子どもガイド 	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸内国際芸術祭会期中に粟島でガイドを実施 ガイド数：延べ55人・体験者数：67人
2	インバウンド対策	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 「日本航空株式会社との包括的連携協定」に基づく持続可能な観光セミナー（おもてなし講座） 	<ul style="list-style-type: none"> 参加人数 21名
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 自治体国際化協会（クリア）主催の自治体幹部職員の視察受入（フランス・ベルギー） 	<ul style="list-style-type: none"> 受入数：3人（2泊3日） 市の具体的な提言をまとめたレポートの提出
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 観光ウェブサイトの多言語対応、看板の多言語対応 	<ul style="list-style-type: none"> HP PV数(4/1-1/31)：英語約23千PV 中国語 約7万PV
3	観光事業者間のネットワーク構築	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 創業塾の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 夏・冬に2回開催（参加人数：夏22人 冬20人）
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 三豊市観光交流局会員交流会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 事業者マッチング（素泊まり宿×カフェ朝食／お弁当配達×宿泊施設など）



実施事業：基本戦略#6 受入体制の整備（ソフト整備）（2/2）

	具体的なアクション	主体	2025年度の実施事業	実績・効果
3	事業者の 情報発信支援	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度 三豊市展示会等出展事業補助金 	<ul style="list-style-type: none"> 観光関連事業者（食品製造）2社補助
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケット・トレードショー 2026 出展サポート 	<ul style="list-style-type: none"> 観光関連事業者（食品製造）2社出展
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 「地域のおしごと図鑑」制作 	<ul style="list-style-type: none"> 3月末にデータ版公開予定
		三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 市民のイベントの後援や広報支援 	<ul style="list-style-type: none"> 後援数：28件 公式LINEや防災無線での広報
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> グルメインフルエンサー「はらぺこあおむし」とのタイアップ企画 	<ul style="list-style-type: none"> 地元民がすすめる名店をインフルエンサーを活用して紹介、三豊の食イメージ向上 【実績例】売上4倍、お客様70組来局 など
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> SNSやウェブサイトでの情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通してSNSやHPで地元の事業者サービスを紹介
4	ワーキングツーリズムの推進	三豊市	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度三豊市インターンシップ支援事業補助金 	<ul style="list-style-type: none"> 1件（5万円支給）





実施事業：基本戦略 #7 観光DXの推進

	具体的なアクション	主体	2025年度の実施事業	実績・効果
1	観光DXの推進に向けた検討	—	<ul style="list-style-type: none"> （次年度着手） 	<ul style="list-style-type: none"> （次年度着手）
2	観光関連データの集約・分析・活用	観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 地域OTA開始によるデータ分析 	<ul style="list-style-type: none"> 導入施設19施設の宿泊データを一括集約
		観光交流局	<ul style="list-style-type: none"> 紫雲出山 来訪者アンケートをウェブサイト経由で取得 	<ul style="list-style-type: none"> 紫雲出山遺跡館来場者アンケート201件（趣向、情報源、宿泊の有無、消費額）
3	二次交通の利便性の向上	—	<ul style="list-style-type: none"> （次年度着手） 	<ul style="list-style-type: none"> （次年度着手）



｜ KPIの達成状況

	2025年度実績	目標値（2029年度）	測定頻度
 観光消費額	-	45千円	次年度に測定予定
観光入込客数	1,690千人	2,000千人	毎年1回
 宿泊客数	46千人	50千人	毎年1回
訪日外国人宿泊客数	6千人	3千人	毎年1回
 リピーター率	(次年度測定予定)	50%	次年度測定予定
市民愛着度	(2027-28年度に測定予定)	50%	2027-28年度に測定予定

2025年度の総括

■ 成果

・本年度は、瀬戸内国際芸術祭2025の開催にあたる特別な1年だった。栗島会場では前回比1.4倍超の来場者を記録し、地元3高校や住民との協働による独自の受入体制が確立された。また、父母ヶ浜が国際的なコンペティション「TOP100ストーリーズ」への選出や環境省「自然共生サイト」に認定されるなど、三豊らしいサステナブルな観光の品質が国内外から高く評価され、強力な観光ブランドの基盤構築へのスタートを切ることができた。

■ 課題

・観光需要の拡大に伴い、父母ヶ浜等の特定スポットへの集中緩和と市内全域への回遊促進が喫緊の課題となっている。特に、滞在時間の延長や観光消費額の向上に直結する、宿泊機能の強化や高付加価値な体験型コンテンツの拡充が依然として不足している。また、来訪者と地域住民の持続的な共生に向けた混雑対策の仕組み化や、観光地経営を担う多様な主体間の連携をさらに深め、受入基盤を高度化していく体制整備が求められている。

■ 次年度への展望

・2026年度からは、今年度に構築した基盤を活かした持続的な観光事業を展開する。基本理念である「風景が観光を育み、観光が風景を創る」の具現化に向け、観光の価値を地域資源の保全へ還元する循環モデルを確立していく。

